

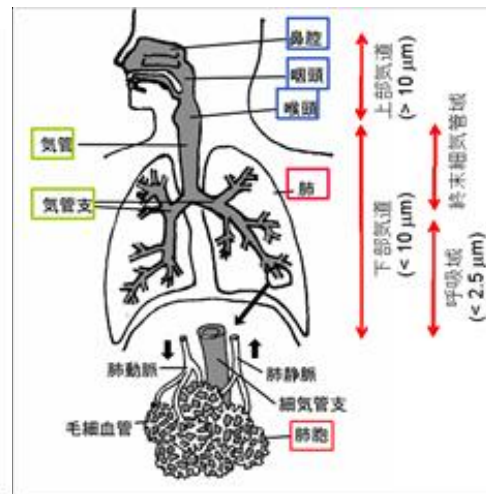
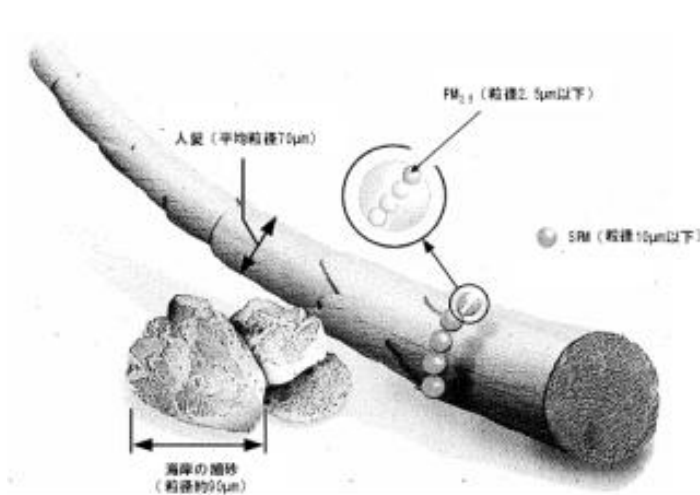
保健通信

平成26年 3月10日
益田翔陽高等学校 保健室

PM2.5について！！



- ・ 大気中に浮遊している粒子状物質の内でも特に粒径の小さいものをいう(粒径 $2.5\mu\text{m}$ 以下の微小粒子物質)
- ・ PM2.5については、呼吸器の奥深くまで入り込みやすいことなどから、人への健康影響が懸念されており、欧米諸国では、独立の項目として環境目標値が設定されています。日本においても、このような状況を踏まえ、中央環境審議会における審議を経て、平成21年9月に環境基準を告示しました。



PM2.5は直径 2.5 マイクロ・メートル以下の物質の総称です。スギ花粉の 10 分の 1 ほどの粒子で、吸い込むと肺の奥まで入りやすく、ぜんそくや気管支炎などの原因となることも指摘されています。呼吸器や心臓に病気がある人や高齢者、子供の体調管理には、十分に留意する必要があります。PM2.5の急増の原因は、石炭を燃やす際に生じるばい煙や自動車の排気ガスです。2月26日は西日本と北陸などで濃度が上昇し、 10 府県が住民に注意を促しました。PM2.5は工場からのばい煙や自動車等からの排出ガスとして直接排出されるものと、大気中の硫酸化合物や窒素酸化物等が化学反応により粒子化したもの等で、粒径が $2.5\mu\text{m}$ 以下の小さな粒子です。

山陰PM2.5濃度上昇・・・国基準値超え鳥取で警戒情報

健康被害が懸念されている微小粒子状物質「PM2.5」の濃度が山陰両県で上昇した。

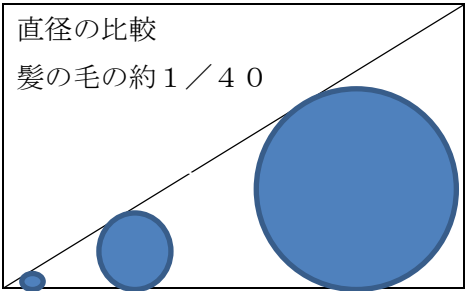
鳥取県水・大気環境課によると、25日は国が注意喚起の暫定指針としている値(1時間平均で、大気1立メートル当たり 85 マイクログラム)を超えたため、不要、不急の外出を控えることなど呼びかける警戒情報を出した。

島根県でも午前中から徐々に濃度が上がり始め午前9時の段階で、全観測所の1時間値が環境基準を超過。

午後5時までに、浜田、江津両市のほか、益田 102 マイクログラム、出雲 92 マイクログラムを記録した。

出典 平成26年2月26日 山陰中央新報

本校では、体育科の方で、体育の時間にロードレース走実施にあたり、毎時間PM2. 5の数値を確認して行っていました。生徒は毎時間、「今日はどうですか？」と聞いていた様子です。



PM2.5 花粉約 30 μ m 髪の毛の断面約 100 μ m

注意喚起のための暫定的な指針				
レベル	暫定的な指針となる値	行動のめやす	注意喚起の判断に用いる値 ※3	
	日平均値 (μg/m ³)		午前中の早めの時間帯での判断	午後からの活動に備えた判断
			5時～7時	5時～12時
			1時間値 (μg/m ³)	1時間値 (μg/m ³)
Ⅱ	70超	不要不急の外出や屋外での長時間の激しい運動をできるだけ減らす。 (高感受性者※2においては、体調に応じて、より慎重に行動することが望まれる。)	85超	80超
Ⅰ	70以下	特に行動を制約する必要はないが、高感受性者は、健康への影響がみられることがあるため、体調の変化に注意する。	85以下	80以下
(環境基準)	35以下 ※1			

※1 環境基準は環境基本法第16条第1項に基づく人の健康を保護する上で維持されることが望ましい基準
PM2.5に係る環境基準の短期基準は日平均値35μg/m³であり、日平均値の年間98パーセンタイル値で評価
※2 高感受性者は、呼吸器系や循環器系疾患のある者、小児、高齢者等
※3 暫定的な指針となる値である日平均値を超えるか否かについて判断するための値

島根県の大気状況速報値（益田合庁）

PM2. 5（微小粒子状物質） データは 益田保健所 環境保全グループより

月	日	曜日	測定時間	値 [(μ g/m3)]
2	2 5	火	14:00	71
2	2 6	水	14:00	39
2	2 7	木	14:00	11
2	2 8	金	14:00	27
3	1	土	14:00	31
3	2	日	14:00	12
3	3	月	14:00	7
3	4	火	14:00	21